

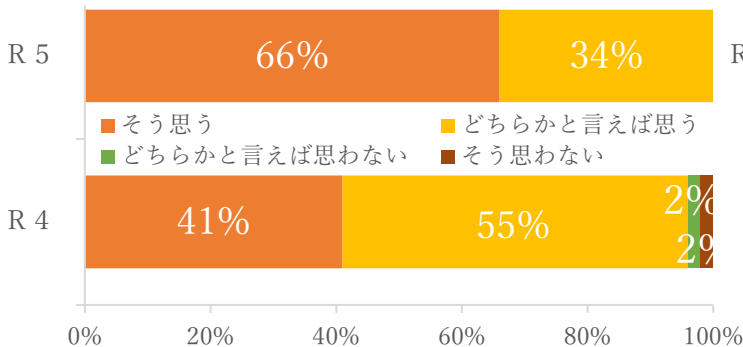
令和5年度「野沢温泉学園・中学校アンケート」まとめ

この報告では、野沢温泉学園・中学校で「願う生徒像」に寄せて、中学校で取り組んでまいりました「育みたい資質能力 4つの力」に寄せて、保護者の皆様のお考えと、子どもたちのアンケートの結果も合わせてまとめました。

Ⅰ 学園について

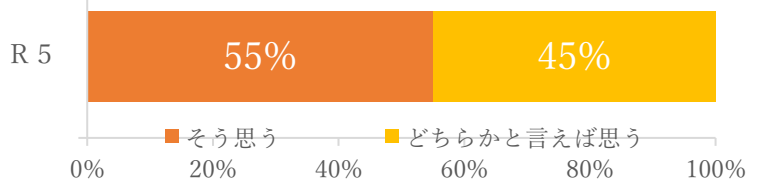
(1) ①「ふるさと学習」で、地域の様々なひと・もの・ことにふれて学ぶことで、子どもたちは地域のよさを実感していると思いますか。

【保護者アンケート】



②「ふるさと学習」で、野沢温泉村の様々なひと・もの・ことにふれて学ぶことで、村のよさを実感することができた。

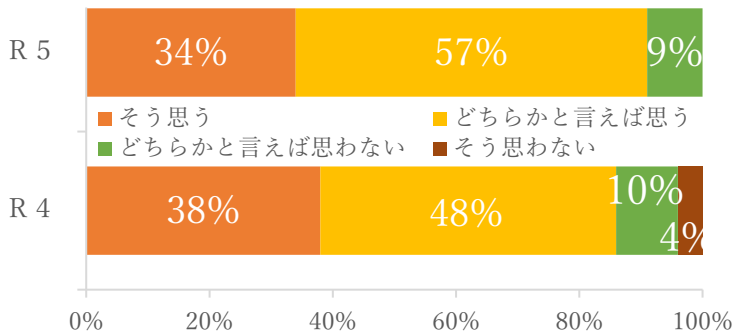
【生徒アンケート】



保護者アンケート（記述）では、地域の体験学習や地域に密着した活動が多く、子どもたちの心に深く故郷の時間が刻まれている等の肯定的意見を頂きました。総合の時間・キャリア学習・学校行事等へ生徒が主体的に関わり意欲的に学ぶことができています。今後も地域の皆様のご協力を得ながらふるさとを学び、村を愛する生徒を育てていきます。

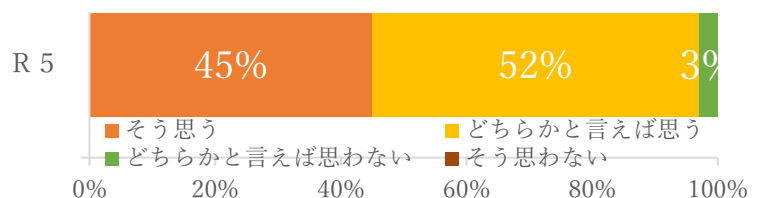
(2) ①「英語学習」は、子どもたちにとって、外国の文化や言語に親しみ、コミュニケーションの姿勢を育てる学習になっていると思いますか。

【保護者アンケート】



②英語学習や様々な交流活動で、外国の文化や言語に親しんだり、コミュニケーションの力を育てたりすることができた。

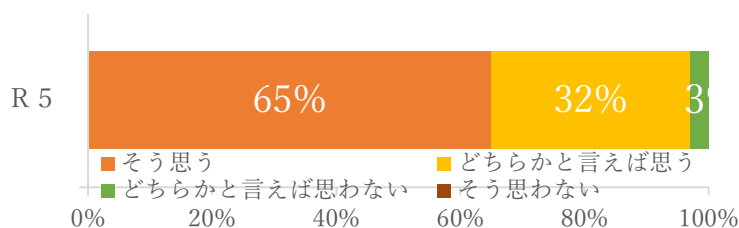
【生徒アンケート】



昨年度比で、保護者アンケートの肯定的回答が上昇しました。英語の授業では学習者用デジタル教科書を日々活用し、話す・聞くの能力が向上しています。今年度、村内の海外出身ゲストティーチャーとの交流授業を通じた異文化理解、こども園で英語絵本の読み聞かせ、小6児童への英語プレゼン授業、台湾の龍門国民中学校とのオンライン交流、等の相手を意識した実践的な英語学習を行いました。今後も活動内容を充実させていきます。

(3) スキー授業等で、スキー（スノボ）を楽しんだり、スキー（スノボ）技能を高めたり、野沢温泉スキー場の良さを感じたりすることができた。

【生徒アンケート】

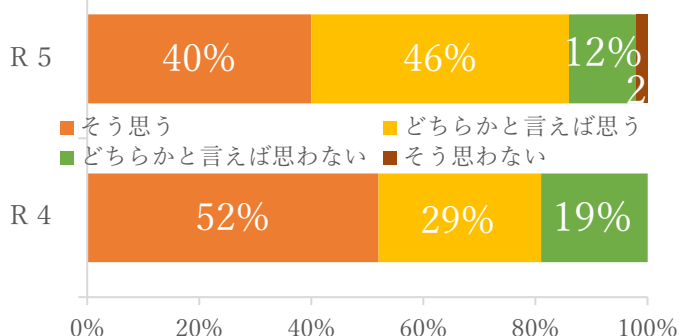


生徒から多くの肯定的な意見が集まりました。リフト券の無償貸与やインストラクターによる指導等、スキー・スノボに親しみ上達できる恵まれた環境の中で、生徒たちの技能や関心・意欲が育まれています。また、スキーWTの取組として、生徒たちがスキーに関わる方々の思いに触れられる機会を設けています。

2 学校について

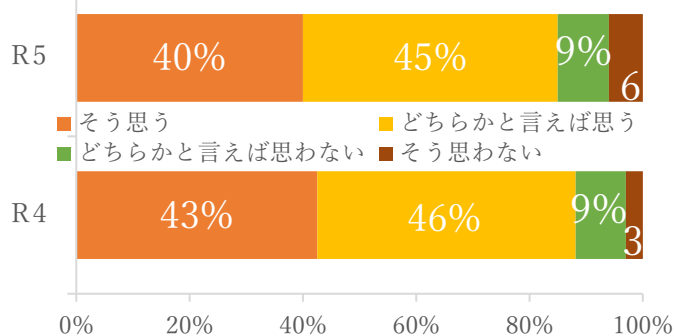
(1) ①お子さんは学校へ行くのを楽しみにしていますか。

【保護者アンケート】



②学校は楽しいですか。

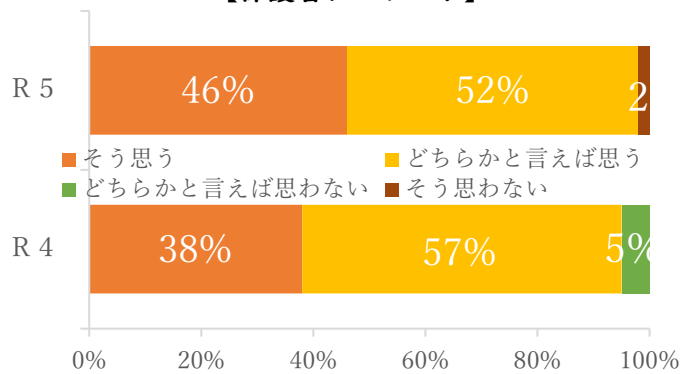
【生徒アンケート】



今年度、保護者の皆様と生徒の回答割合がほぼ同程度となりました。生徒たちは概ね楽しく充実した学校生活を過ごせていると考えています。生徒が記す日常の生活記録や何気ない会話、5月・10月に実施のcocoon time（教育相談）、7月・12月に実施の「心のアンケート」等を通して、生徒個々の悩みや困り感を把握しました。その後、学校職員が保護者・学年職員・校外の外部機関等とも連携し、個に寄り添った支援を継続してきました。学習面の課題や、集団・友だち同士の関わり等を含め、必要に応じて生徒の困り感を全職員で共有し、複数職員がチームとなり支援してきました。今後も生徒の困り感の把握や個別支援等の寄り添いを大切に、全校生徒が安心して学校生活を過ごせるように配慮していきます。

(2) 学校職員は、保護者からの相談や要望にきちんと応えていますか。(学級担任以外も含めて)

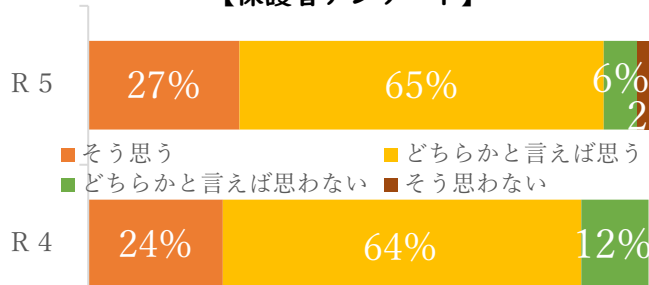
【保護者アンケート】



保護者アンケートでは、昨年度に比べ、多くの肯定的な評価をいただきました。この結果に安心することなく、今後も生徒や保護者の方からの相談事やご指摘を丁寧にお聴きし、迅速に対応していけるように臨みます。そして、問題点や課題について、それぞれの立場や想いを共有した上で、より良い方向を探れるように配慮していきます。

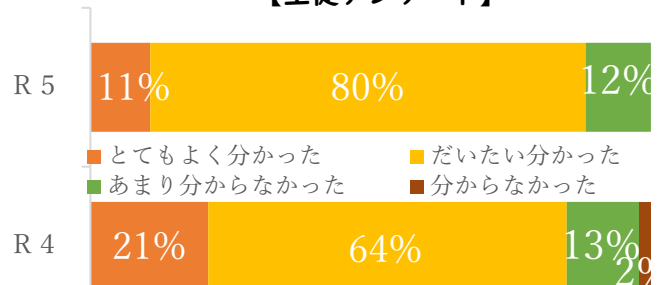
(3) ①学校職員は、分かりやすい授業をしていますか。

【保護者アンケート】



②授業全般について教えてください。

【生徒アンケート】



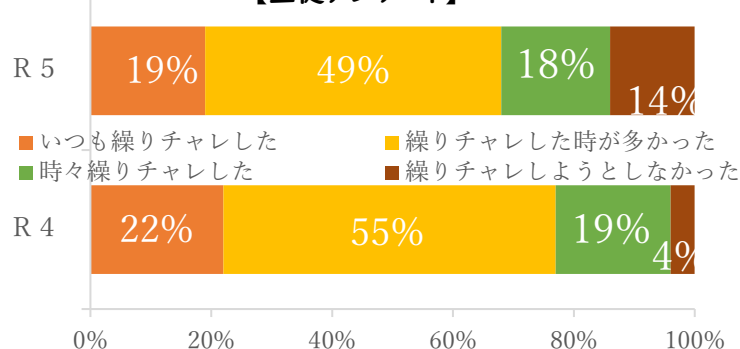
どの生徒にも分かる授業を目指し、本年度も学ぶ子どもの視点や意識に立った授業作りに取り組んでまいりました。学習者用デジタル教科書を日々積極的に活用する等して、全ての教科で一人一台端末を有効活用し、個々の学びの充実や、クラス全体の学びの質を向上させるよう努めてまいりました。今後も、ICT 機器を有効活用した授業展開を研究し、生徒が主体的・探究的に学びを深められるように工夫していきます。

3 大切にしたい4つの力について

令和5年度の野沢温泉中学校では、大切にしたい4つの力を掲げ、特に「繰り返しチャレンジする力」が伸びるように「繰り返しチャレンジする場の充実」を図れるように取り組んでまいりました。また、生徒へアンケートを行い、教育活動に反映してまいりました。

(1) 繰り返しチャレンジできましたか。

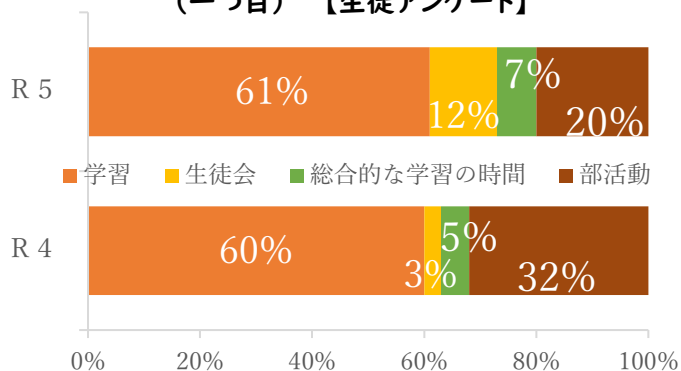
【生徒アンケート】



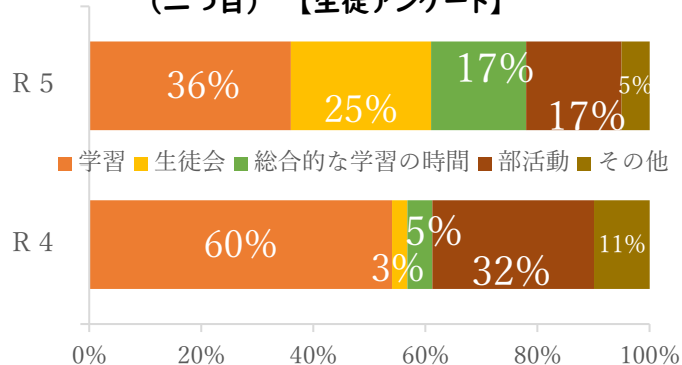
大切にしたい4つの力

- 自分や他者を大切にする力
- 自分の考えを持つ力
- 自分を表現する力
- 繰り返しチャレンジする力

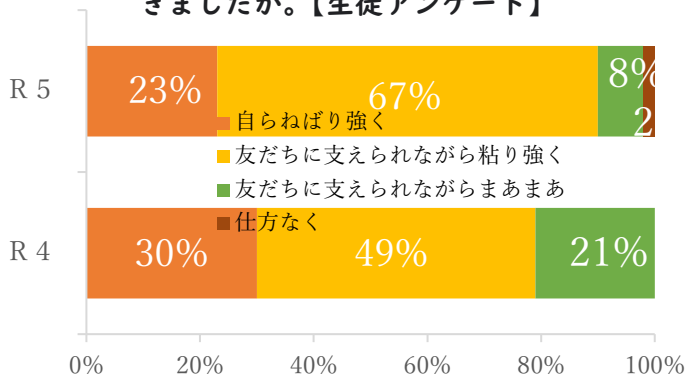
(2) ①どんな場面で繰り返しチャレンジしましたか。主な場面を二つ教えてください。
(一つ目) 【生徒アンケート】



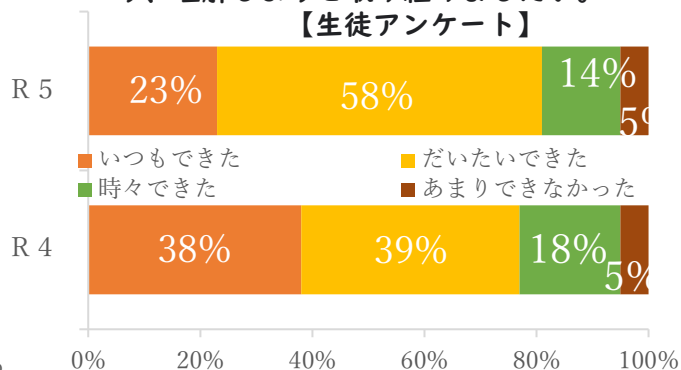
②どんな場面で繰り返しチャレンジしましたか。主な場面を二つ教えてください。
(二つ目) 【生徒アンケート】



(3) 人とかかわりの中で、自らすすんでねばり強く調査・追究・実践・製作等できましたか。【生徒アンケート】



(4) 授業で疑問に思ったことや分からなかった問題を、そのままにせず、粘り強く解決しよう、理解しようと取り組みましたか。【生徒アンケート】

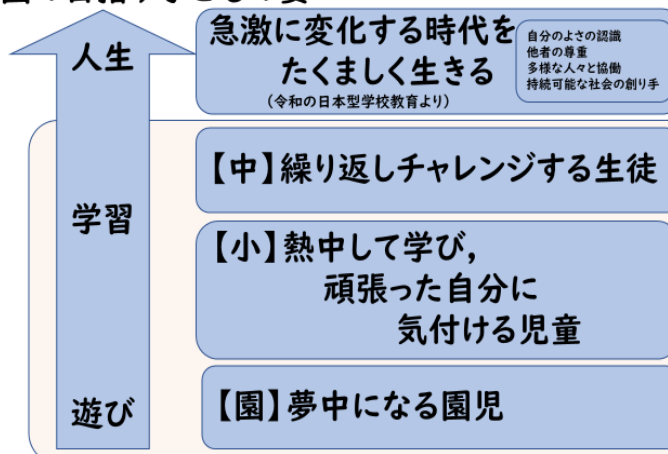


昨年度に比べて、生徒の「チャレンジしようとしなかった」割合がやや増えましたが、多くの生徒から、根気よく諸活動に取り組む姿を見ることができています。更に、どの場面で取り組めたか、主に取り組んだ二つのことについて質問したところ、昨年度に比べて、学習の場面だけでなく、「総合的な学習の時間」「生徒会活動」が増加し、学校生活全体において繰り返しチャレンジする機会や意識が広がっていることを感じます。生徒アンケートの記述では、「(3年：総合の時間) フォトスポットを設置するにあたって様々な課題が出てきたが、アイデアを出し合い解決することができた」「よく考えてもわからない問題でも、何回も色々な解き方を試して諦めずチャレンジできた」等がありました。また、一人一台端末の活用が進み、「Word・PowerPoint・ムーブ・コラボノート・ロイロノートなどで、自分の意見や考え・予想を発表しやすくなった」という生徒もいて、一人一台端末が繰り返しチャレンジすることへ有効に働いていることも分かりました。生徒たちが繰り返しチャレンジしてみることで、自己理解を深めたり、新たな自己の可能性に気づいたり、「わかった」「できた」「やってよかった」という到達感・達成感・自己肯定感を積み重ねたりしています。このように、生徒たちは日々の学校生活で、自己の課題や困難に立ち向かおうとする力や、問題解決力を育んでいます。

来年度に向けて

野沢温泉学園として目指す子どもの姿については、右のように体系化されています。この体系図を基に、令和6年度も幼保小中の連携や校種を越えた学園職員の繋がりを深めながら、目指す子どもの姿の具現化に向けて取り組んでまいります。

学園の目指す子どもの姿



今後も地域や保護者の皆様と連携を密にして、子どもたちのよりよい成長のために精進してまいりたいと存じます。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

野沢温泉中学校

教頭 吉越 洋一

TEL 0269-85-2141